

そぼくな疑問

Q

カイロプラクティックには、どのような手技があって、
どのような治療器を使うのですか。

東京都(M・K)

1895年9月18日、D.D. パーマーが難聴を患った雑役夫ハービー・リラードへ、テコの原理を利用して手によってアジャストメント(矯正)を施し、難聴を克服したことからカイロプラクティックの歴史は始まりました。今年で112年目を迎えます。この112年の間に様々な時代背景を経て100種類以上のテクニックが開発されています。

これらのテクニックは共通して言えることがあります。それはサブラクセーションを見つけだして、アジャストメントを施すということです。サブラクセーションとは、外傷やストレス、有害物質など何らかの原因により椎骨が正常な位置からズレ、関節の機能異常を起こし、神経機能の異常が発生して脳からの情報が細胞、組織、臓器間で正しくサイクルさせる事ができず身体全体の協調性が乱れている状態のことをいいます。カイロプラクティックという言葉は「手によって施す」という意味であり、言葉の通り手のみを使うテクニックが多勢を占めますが、中には補助的に、または手の代わりに器具を使うテクニックもあります。多くのテクニックとそれに付随する器具があり今回全てを紹介する事は不可能ですが、代表的なテクニックについて説明したいと思います。

ターグルリコイル・テクニック
上部頸椎と呼ばれる頸椎C1、頸椎C2のみをアジャストメントするテクニックで、B. J. パーマーによって考案されました。C1は、脊柱の一番上端に位置し、後頭骨との関節をもち延髄、脊髄に大きな影響を与える場所で最も重要な場所とされています。

ターグルリコイル・テクニックの分析法

(1)4枚のレントゲンからC1、C2の変位を分析、(2)専用計器であるニューロカログラフにより皮膚表面の温度計測をして矯正すべきかどうかを判断します、(3)下肢長検査、(4)パルペーション(触診)。

これら4つの検査から得られた情報をもとにアジャストメントへと移ります。矯正は後述するクレイ・トムソンが開発したドロップヘッドピースを備えたターグル・サイドポスチャーテーブルという専用のテーブルを使用します。

トムソン・テクニック

このテクニックは、まず大きな特徴としてトムソン・ターミナルポイント・ドロップ・テーブルという、1957年にクレイ・トムソンが開発したドロップ機能を備えるテーブルを使用し、慣性の法則を利用して矯正を行うので誰にでも最小限の力で安全にアジャストメ

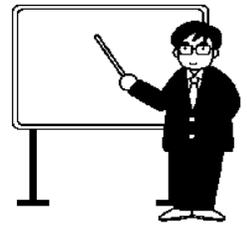
ントでき最大限の結果を出すことが出来ます。

トムソン・テクニックの分析法
まず患者を、トムソン・ディアフィールド下肢長短検査法により5つのカテゴリーに分類します。ポジティブディアフィールド【+D】、(2)ネガティブディアフィールド【-D】、(3)頸椎症候群【CS】、(4)エックスディアフィールド【XD】、(5)両側頸椎症候群【BCS】

5つのカテゴリーに合わせてアジャストメントを行っていきます。このカテゴリー以外にも、ドロップテーブルは四肢や顎関節などに使うことができる守備範囲の広いテーブルです。

ディバーシファイド・テクニック
ディバーシファイド・テクニックはカイロプラクティックのなかでも基本的なテクニックで、様々なテクニックがある中でも使用頻度が高く世界中のカイロプラクターのほとんどが、このテクニックを使用しています。ディバーシファイドは「多種多様な」という意味があり、その名の通りこのテクニックには、様々な変形した形のアジャストメントが多くあります。

ディバーシファイド・テクニックに系統立てた分析法は存在しません。多くの施術者が各自の得意と



A

回答者

シオカワスクール オブ カイロプラクティック
事務局

吉田 哲也 先生

〒105-0004

東京都港区新橋2-2-2

ル・グラシエルBLDG. 8 5階

TEL 03-3502-5361 FAX 03-3502-5365

する分析法にこのテクニックを取り入れながら使っています。ディバーシファイド・テクニックを使いこなすには、まず人間の構造を十分に理解した固定と角度を正確にする事が重要です。そうすることによって最小の力でアジャストメントすることができます。

ガンステッド・テクニック

ガンステッド・テクニックは水平な安定した土台は建物の長い寿命と耐久性を保証し、基礎に小さな誤差やズレがあれば、その上部は大きくずれるという考えから発展しました。大きな特徴は椎間板に注目していることです。サブラクセーションを決定するために5つの評価を行いその結果からサブラクセーションを決定します。

ガンステッド・テクニックの分析法

(1) ナーブスコープという専用機器による温度測定、(2) スタティックパルペーション(静的触診法)、(3) モーションパルペーション(動的触診法)、(4) 視診、(5) レントゲン評価。

これら5つの検査により神経圧迫の有無、変位の状況、退行性の度合いなどあらゆる角度から分析を行い各検査から得られた情報と照らし合わせてサブラクセーションを見つけだします。

ガンステッド・テクニックによる

アジャストメントは特に関節面、椎間板に対してニュートラルな状態でのアプローチになりますので、非常に繊細でソフトでありながらしっかりと後方から前方にアジャストメントされるのが分ります。

このテクニックの創始者C.S. ガンステッドは専用の用具として、検査器具であるナーブスコープ、主に骨盤腰部の矯正に使用するベルビックベンチ、骨盤から頸椎まで矯正することが出来るニーチェストテーブル、上部胸椎～頸椎、後頭骨までの矯正と患者の検査に使用するサービカルチェアを開発しました。これらはガンステッド・セットと呼ばれガンステッドを専門とする施術者は必ず使用しています。

看板やチラシなどを見ると、カイロプラクティック＝腰痛や頭痛、肩コリというようなイメージで表現されています。しかしカイロプラクティックは痛みを軽くしたり、症状を取り除いたりする対処療法ではありません

では何に対して、脊椎へアジャストメントをするのか？ カイロプラクティックは『症状や痛みは結果であって原因ではない』と考え、痛みや症状が感じられるようになるまでには体の中でいくつものプロセスを経て、そしてその結

果として痛みや症状が現れると考えるからです。

神経には9つの働きがあります。(1)発熱、(2)運動、(3)分泌、(4)興奮、(5)感覚、(6)呼吸、(7)生殖、(8)拡張、(9)栄養これら9つの働きはすべて神経により統制されバランスを取り合っています。そして何らかの原因で脊椎にサブラクセーションがおきると神経が圧迫され神経機能障害がおき、上記の9つの働きのバランスが乱れそれぞれの機能に異常が発生します。カイロプラクティックではサブラクセーションがこれら神経の9つの働きに異常を発生させ、様々なプロセスを経て痛みや症状として現れると考えています。

サブラクセーションによる神経機能障害がおきることが、人間にとってとても大きな問題だと捉える私達カイロプラクターは、脊椎の構造を利用し唯一の目的である神経機能障害を伴う『サブラクセーション』を取り除くことにより、人間が生まれながらに持つ神経適応能力、自然治癒力を最大限に引き出し、その人の持つ本来のパフォーマンスをより高いレベルに引き上げる事がカイロプラクティックの最大であり唯一の目的としています。